

TOPICS

環境づくりのふたつめは、「子どもが健やかに育つ環境」で、次のようなことを実施していくと考えています。

- ・地域の人材や資源を活用しながら、子どもがさまざまな体験や交流ができる機会づくりや安心して遊べる場づくりなど、子どもが健やかに育つ環境づくりを推進します。

地域の子どもから大人が一体となって一つの活動に取り組み、異世代交流をはかりながら豊かな人間関係を育んでいく子ども体験キャンパス事業。主な活動は「サマーキャンプ」や「子ども文化祭」で、中高生ボランティアが企画・運営を行い、大人のボランティアがその支援やアドバイスをしながら実施をしていくものです。

毎年夏休みに虎御前山教育キャンプ場で実施している2泊3日のサマーキャンプでは、自然の中の貴重な体験や仲間との集団生活を通じ、自主性や協調性を身につけることができ、キャンプが終了する頃には、参加したボランティアも子どもたちも一回りたくましくなっています。



▲おもちゃ図書館「さくらんぼ」の活動風景

平成10年に「子育て支援に協力しよう!」「乳幼児親子と一緒に自分も楽しもう!」という思いを持った人たちが集まった子育て支援ボランティアグループ。会員は20歳代から80歳代までの55人(平成21年4月現在)。

クラブでは、「子どもが輝き未来を見つめ 地域で育む 明るい長浜」をテーマに、子育て

サンサン母親クラブ (長浜市)

余呉町社会福祉協議会では余呉小学校の児童を対象として、毎月第4土曜日に余呉町老人福祉センターを会場として「なかよしサタデー」を開催しています。そこでは毎月テーマを決めて活動を行っており、毎回約20人の子どもたちが参加しています。竹を材料とした水鉄砲づくりなど事業の内容によって、地域に住むお年寄りの方に協力いただくこともあります。また、今年の7月には米原市の伊吹山にハイキングに出かけるなど、毎回いろいろな体験をして楽しく過ごしています。

8月9日、合併後の子育て支援を考えるシンポジウムが、湖北町の文化交流センターで開催されました。そこでは、「今ある支援活動を合併後も継続していきたい。そのためには、今までどおり身近なところに拠点があり、安心して活動しやすい環境がほしい」という意見が聞かれました。

少子化にはいろいろな要因があり、決定的な解決策や特効薬が無いのが現状です。しかし、少なくとも「子育てしやすい環境や地域をつくること」は、みんなのちよつとした力を集めればできる解決策の一つだと思います。

新しいまちでは、各地域の子育て支援活動がこれからも継続できるように、2つの環境づくりをしっかりと進めていきたいと考えています。いつまでも子どもたちの声が市内の各地域にこだまするために。

活動しやすい環境

支援センターと連携しながら、親子を対象にした交流活動の企画と進行を行い、楽しい遊びの場を提供するとともに、参加者保護者に経験に基づくアドバイスをされています。また、子育て情報紙の発行、地域での子育てサロン・サークルの運営や支援をしたりするなど、市内の各地域で活動を展開されています。

なかよしサタデー (余呉町)

か、水遊びやバス遠足など様々な活動を行うなど、町全域で地域に密着した子育て支援を行っています。

みどりのふしせん (高月町)

もちやの製作など提供内容豊富なニコニコランド(5グループ)や、よりフリーにのびのびと親子でふれあえるニコニコ広場、幼児園児親子対象のニコニコタイム(土曜日)など、3つの「親子ふれあい遊びの広場」を開設し、交流できる機会づくりも行っています。

キッズ・マミーズクラブ (西浅井町)

乳幼児健診や未就園児対象の親子教室等で、母親同士・子ども同士が顔見知りになることはあったが、交流や情報交換をする場がなかったため、そういった場をつくらうと、平成13年に子どもを主体としたキッズクラブが、平成14年に母親を主体にしたマミーズクラブが設立されました。その後、平成19年に2つが一緒になり、子育て自主活動グループ「キッズ・マミーズクラブ」が設立されました。

クラブでは、「参加できる場」「出合いの場」「話し合える場」「考える場」という4つの場をつくり、おさんぽや夏祭り、座談会などの活動が行われています。



▲ニコニコハウスでカブト作りをした親子のみなさん

この環境へ

急速に進む少子化は、現在の社会経済だけでなく将来にも大きな影響がでると懸念されることから、近年、国をあげてその対策が行われてきました。しかし、出生数や合計特殊出生率は、減少傾向にあり、昨今の経済不況と相まって、少子化や子育てが大きな社会問題となつていきました。

また、次世代育成(子育て)は、おとうさんやおかあさんなどの保護者が限らない愛情を注ぎ、責任をもつて子どもの成長を支え、見守っていくことが基本ですが、少子化の進展が社会に与える影響が懸念されることから、企業や地域社会を含めた社会全体で少子化対策や子育て支援を進めていくことも大切になってきています。

すでに、そういった環境づくりがいくつか始まっているので、各地域での取組を紹介します。

ニコニコハウス (湖北町)

「出合い・ふれあい・育ち合い」をコンセプトに、子育て真っ最中のみなさんが集える場を開設し、子育ての仲間づくり・子育てに関する悩みの相談・親子でふれあう遊びの提供・育児疲れのリフレッシュなど、「子育ては楽しい!」と感じ、いきいきと子育てができるようニコニコハウスのスタッフが応援します。

ハウスでは、未就園児親子を対象に、季節の遊びや手作りお

新しい長浜市ってどんなまち

④次世代育成(子育て)支援

子どもの声があふれるまちへ

合併基本計画では、次世代育成(子育て)支援を推進していくため、2つの環境づくりを位置づけています。そのうちのひとつは、「安心して子育てできる環境」で、次のようなことを実施していくと考えています。

- ①多様化する子育てニーズを適切に把握し、子育て支援や保育サービスの機能充実を図るとともに、保育所等の計画的な施設等の整備を行う。
- ②子どもと子育て家庭を地域で見守り支えていくために、子育てに関する情報や学習機会を提供するとともに、地域での子育て相談・支援体制の充実を図る。

おもちゃ図書館「さくらんぼ」 (木之本町)

木之本町社会福祉協議会では、就園前の幼児とその保護者を対象におもちゃ図書館「さくらんぼ」を開設しています。

おもちゃ図書館では、世代間交流の後押し、子どもの豊かな発育、保護者同士の交流促進、をテーマに、ボランティアや民生委員・更生保護女性会の協力をいただいで、たくさんのおもちゃを用意した場を開放するほ